

## 2008年版 学長が新入生に薦める100冊の本 ～イノチを考える

	書 名	編著者名
1	「いのち」とはなにか：生命科学への招待	柳澤桂子
2	DNAに魂はあるか：驚異の仮説	F. クリック
3	ES細胞：万能細胞への夢と禁忌	大拙博善
4	いのち：生命科学に言葉はあるか	最相葉月
5	いのちの終末をどう生きるか	日野原重明
6	いのちの文化人類学	波平恵美子
7	いのちを考える：バイオエシックスのすすめ	木村利人
8	エイズと生きる時代	池田恵理子
9	ガイア：地球は生きている	ジェームズ・ラブロック
10	からだの設計図：プラナリアからヒトまで	岡田節人
11	クローンの世界	中内光昭
12	ゲノムが語る生命	中村桂子
13	こころの作法：生への構え、死への構え	山折哲雄
14	シナプスが人格をつくる	ジョゼフ・ルドゥー
15	生物と無生物のあいだ	福岡伸一
16	二重らせん	ジェームス・D.ワトソン
17	バイオポリティクス：人体を管理するとはどういうことか	米本昌平
18	ヒトはどのようにしてつくられたか	山極寿一
19	ヒトはなぜ病気になるのか	長谷川真理子
20	ペスト大流行	村上陽一郎
21	マイクロコスモス：生命と進化	L.マルグリス, D.セーガン
22	遺伝子発見伝	R.デュボス
23	医療の倫理	星野一正
24	医療倫理学	丸山マサ美
25	覚悟としての死生学	難波紘二
26	感染症は世界史を動かす	岡田晴恵
27	機械仕掛けのホモ・サピエンス	古川俊之
28	教養としての「死」を考える	鷲田清一
29	健康・老化・寿命：人といのちの文化誌	黒木登志夫
30	黒死病：疫病の社会史	ノーマン・F・カンター
31	死と歴史：西欧中世から現代へ	フィリップ・アリエス
32	死にゆく人のための医療	森岡恭彦
33	死生観を問いなおす	広井良典
34	自己創出する生命	中村桂子
35	種の起源 上・下	チャールズ・ダーウィン
36	新・細胞を読む：「超」顕微鏡で見る生命の姿	山科正平
37	新・分子生物学入門：ここまでわかった遺伝子のはたらき	丸山工作
38	新しい発生生物学	木下圭, 浅島誠
39	新型インフルエンザ：世界がふるえる日	山本太郎
40	進化とは何か	今西錦司
41	人間はどこまで動物か：新しい人間像のために	アドルフ・ポルトマン
42	人体を戦場にして	R.ポーター
43	生物進化を考える	木村資生
44	生命システムをどう理解するか	浅島誠
45	生命とは何か	E.シュレディンガー
46	生命と地球の共進化	川上紳一
47	生命と地球の歴史	丸山茂徳, 磯崎行雄
48	生命の意味論	多田富雄
49	生命の多様性 上・下	E.ウィルソン
50	生命の未来	エドワード・O・ウィルソン

	書名	編著者名
51	生命科学と倫理：21世紀のいのちを考える	関西学院大学キリスト教と文化研究センター
52	生命科学の冒険	青野由利
53	生命科学への道	R.J.デュボス
54	生命観を問いなおす：エコロジーから脳死まで	森岡正博
55	精子と卵のソシオロジー：個体誕生へのドラマ	緋田研爾
56	祖先の物語：ドーキンスの生命史 上・下	R.ドーキンス
57	胎児からのメッセージ：水俣・ヒロシマ・ベトナムから	原田正純
58	胎児の世界：人類の生命記憶	三木成夫
59	脳とクオリア	茂木健一郎
60	脳死・クローン・遺伝子治療：バイオエシックスの練習問題	加藤尚武
61	裸のサル	D.モリス
62	未来の私たち：21世紀の科学技術が人の思考と感覚に及ぼす影響	スーザン・グリーンフィールド
63	利己的な遺伝子	R.ドーキンス
64	歴史を変えた病	F.F.カートライト
65	「死の医学」への日記	柳田邦男
66	「死への準備」日記	千葉敦子
67	1リットルの涙：難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤亜也
68	いのちのハードル：「1リットルの涙」母の手記	木藤潮香
69	がんと闘う・がんから学ぶ・がんと生きる	中島みち
70	ガンのある日常：体験者18人のいのちの力	影山和子
71	がん告知以後	季羽倭文子
72	きけわだつみのこえ：日本戦没学生の手記	日本戦没学生記念会
73	さようならを言うための時間	波多江伸子
74	そうか、もう君はいないのか	城山三郎
75	愛、深き淵より：筆をくわえて綴った生命の記録	星野富弘
76	河辺家のホスピス絵日記：愛する命を送るとき	河辺貴子, 山崎章郎
77	犠牲(サクリファイス)：わが息子・脳死の11日	柳田邦男
78	苦海浄土：わが水俣病	石牟礼道子
79	死について!	スタッズ・ターケル
80	死ぬ瞬間	E・キューブラー・ロス
81	証言水俣病	栗原彬
82	神様がくれたHIV	北山翔子
83	水俣・胎児との約束	矢吹紀人
84	生きる者の記録 佐藤健	佐藤健と取材班
85	典子44歳いま、伝えたい：「典子は、今」あれから25年	白井のり子
86	電池が切れるまで：子ども病院からのメッセージ	すずらんの会
87	飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ	井村和清
88	美しいままで：オランダで安楽死を選んだ日本女性の「心の日記」	ヤスコ・ネーダーコールン, 秋岡史
89	壁のない風景：ハンセン病を生きる	井上桂子
90	アンドロイドは電気羊の夢を見るか?	フィリップ・K.ディック
91	その日のまえに	重松清
92	ヒロシマ・ノート	大江健三郎
93	100万回生きたねこ	佐野洋子
94	夜と霧	V.E.フランクル
95	十七歳の硫黄島	秋草鶴次
96	星の王子さま	サン=テグジュペリ
97	生きがいについて	神谷美恵子
98	半落ち	横山秀夫
99	葉っぱのフレディ：いのちの旅	レオ・バスカーリア
100	流れる星は生きている	藤原てい

番外	橋をかける：子供時代の読書の思い出	美智子皇后陛下
----	-------------------	---------